

2023年6月

高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



図書館ですてきな出会い人と本

発見! 高松の
銅像

中央公園 PART 2

くにとう てるた
「国東照太翁立像」

高松市中央公園の南側、道路の近くに立つ銅像があります。昭和21年から昭和42年まで、高松市長を務めた国東照太（1887～1972）です。

明治20年に中野町の士族の家に生まれた国東照太は、父親の急な逝去により、在籍していた高松市立商業学校を明治36年に中退。その後、家業の紙製造業を継ぎ、苦勞しつつもそれを発展させ事業家として成功します。昭和13年に市議会議員に当選し、市議会議長を経て昭和21年、60歳で第12代高松市長に就任しました。以来21年間、無欠勤でその職務を全うしています。



堂々とした立ち姿の像

中央公園案内図



在任中は教育施設や学校教育の充実を目指し、また消防施設の増強整備を推進。さらに玉藻城跡を公園化するなど、近代高松市の基盤を作り上げました。隣接した町村を合併し、戦後の焼け跡から高松を復興させるという、大きな役割を果たしたのです。

これらの功績が称えられ、84歳の時に第1号名誉市民の称号を得ました。

昭和47年に85歳で逝去され、その後、昭和52年にこの銅像が建設されています。(M)

『国東照太傳』 常盤新和会 / 編集・発行 1972年 / 発行 T2890 / クニ
 『讃岐おもしろ人物図鑑パート3』 阿津 秋良 / 著 美巧社 2009年 / 発行 T2818 / アツ / 3
 『郷土歴史人物事典 香川』 玉村 稔 / 著 香川県中学校社会科研究会 / 編著 第一法規出版 1978年 / 発行 T2810 / キヨ
 『ふるさとなかの 中野町80周年記念誌』 ふるさとなかの編集委員会 / 編 2003年 / 発行 T2310 / フル

中央図書館 6月の休館日のお知らせ 5日、12日、19日、26日、30日

今月のおすすめ本

大人になると時間が進むのが速い？タイムマシンって作れるの？
考えれば考えるほど不思議がいっぱいです。
今月はそんな「時間」に関する本を紹介します。



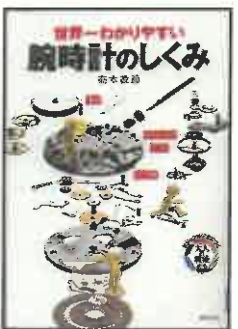
『絵と図でよくわかる時間の謎 流れゆく過去・現在・未来』
ニュートン編集部/編著 ニュートンプレス 2023年/発行 4212/エト

時間は私たちのまわりを当たり前のように流れています。しかし、同じ1時間でも長く感じたり短く感じたりするなど、時間は謎に満ちています。この本は心理学や生物学、物理学といったさまざまな視点から、時間の正体にせまった1冊となっています。



『時計遺伝子 からだの中の「時間」の正体』
岡村 均/著 講談社 2022年/発行 4641/オカ

朝に目覚め、夜に眠くなるという睡眠のリズムのように、体の生理現象のほとんどは体内時計が生み出す約24時間の周期で変動しています。そもそも体内時計とは何なのか。その答えは「時計遺伝子」にあります。時計遺伝子がどのように体の機能と結びついているかを知ると、生体リズムの大切さに気づくきっかけになると思います。



『世界一わかりやすい腕時計のしくみ』
高木 教雄/著 世界文化社 2022年/発行 5352/タカ

出先で時間を確認する際、腕時計を使う人も多いのではないのでしょうか。時計とは、目に見えない時の流れを視覚化する装置です。振り子時計から機械式時計へ進化し、小型化され、懐中時計や腕時計へとつながっていきます。この本では、腕時計の構成パーツの説明から始まり、定番機能や外装のしくみも解説されており、腕時計のことをより深く知ることができます。



『古代ギリシア人の24時間 よみがえる栄光のアテネ』
フィリップ・マティザック/著 高島 純夫/監訳・解説 安原 和見/訳
河出書房新社 2022年/発行 2314/マテ

紀元前416年エラペポリオン月、ディオニュシア演劇祭の直前（4月初め）のアテネにおけるとある1日を、1時間ごとにふつうのアテネ人の目線で辿った1冊です。ソクラテスやプラトンといった天才が教科書に出てくるような名前の羅列ではなく、社会の中で生きるそれぞれの人物としてその姿を垣間見つつ、社会のあり様を学ぶことができます。

新しい雑誌を入れています！

中央図書館では、新たな雑誌の定期購読を 2023 年 4 月号より開始しています。
どうぞご利用ください。

タイトル	ジャンル	刊行頻度
「TIME」	外交・海外情勢	週刊
「CNN ENGLISH EXPRESS」	言語学	月刊
「Wedge」	経営・経済	月刊
「GetNavi」	産業	月刊
「Waggle」	陸上競技・スポーツ一般	月刊
「スマッシュ」	球技	月刊
「つり人」	釣り	月刊
「ビッグイシュー日本版」	時事・社会問題	月2

【以下の雑誌は 2023 年 6 月より開始となります。】

「Wan」	動物・ペット	季刊
-------	--------	----

高松市美術館

特別展「フィンランドのライフスタイル」関連特集

期間：開催中～6月中旬頃まで

場所：1階 中央カウンター正面

フィンランドスタイルに関する本を展示しています。特別展にこれから
行こうとしている人や、特別展をみて興味を持った人にもおすすめです。

貸出できます

行事予定

閉架書庫見学会

約 37 万点ある中央図書館の閉架書庫をめぐり、本を手にとって見るすることができます。
いつもとは違う本に囲まれた空間を体験しませんか。

日時：6月18日（日） 午前10時～11時

（当日は9時55分までに1階ロビーに集合）

定員：先着20人

（保護者同伴であれば中学生以下も可）

申込み：6月1日（木）午前9時30分より中央図書館1階カウンター
または電話にて受付

問合せ：高松市中央図書館 業務係 TEL (087) 861-4501





中央図書館6月行事予定



・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土
イベント等は開催を中止・延期する場合があります。 開催予定は、ホームページや館内掲示でご確認ください。				1	2	3 ●ひよこの学校 11:00~ ●なかよしかみしばい 14:00~
4	5	6	7 ●ゆりかご おはなし会 10:30~	8	9	10 ●おはなしのかけはし 14:00~
11	12	13	14	15 ●わらべうたで あそぼう 10:30~	16	17 ●コットンツリーのへや 10:30~ ●本さんこんにちは 14:00~
18 ●えほんくらぶの おはなし会 14:00~ ☆閉架書庫見学会 10:00~	19	20 ●にこにこ おはなしひろば 11:00~	21	22	23	24 ●伝々虫のおはなし会 10:00~
25 ●かずこさんの おはなし会 14:00~	26	27 ●えいごの おはなし会 11:00~	28	29	30	

音楽の小屋

『林哲司 melody collection 1977-2015』

林 哲司 22/ハヤ

林哲司という作曲家をご存じでしょうか。名前を知らなくとも、日本のポップスが好きで彼の作った曲を聴いたことがないという方は少ないと思います。数年前から音楽ストリーミングサービスによって世界中で聴かれるようになり、今やシティポップの代名詞のようになった「真夜中のドア～stay with me～」(松原みき)。この名曲の作・編曲をしたのがこのアルバムの主人公、林哲司さんです。



70年代にシンガーソングライターとしてデビュー。その後、作曲家・編曲家としての活動がメインとなり80年代には数多くのヒットを様々な歌手にもたらします。

このアルバムには、林さんが手掛けた曲の中でポニーキャニオンというレコード会社に残された作品がセレクトされています。洋楽のエッセンスをいかに日本のポップスに落とし込むか、耳に残る印象的なメロディを海外の最先端のサウンドと融合させるか、彼がやってきたことが日本のポップスのレベルを上げる一翼を担ってきたのだと感じられるかと思います。

美しいメロディ、思わず口ずさんでしまうメロディ、何度聴いても飽きないメロディ、そういったメロディ

※このコーナーでは、毎月一枚、音楽好きの図書館員より個人的おすすめCDを紹介していきます。

視聴覚だより2階 AV コーナー

特集「三度の飯より時代劇！」

(DVD)

『BALLAD 名もなき恋のうた』D23/ハラ

『引っ越し大名!』D23/ヒツ

『HOKUSAI 北斎』D23/ホク

『蜘蛛巣城』D23/クモ

『劇場版 猫侍』D23/ネコ



(DVD)

《ピックアップ作品》

『ワイルドライフ

自然写真家 野生へのまなざし 中村征夫』

D79/ワイ

水中写真家の中村征夫は、まだヘドロの海だった頃から東京湾に潜り始め、また、日本復帰前の沖縄のサンゴの海も撮り続けています。挫折を繰り返し、写真家となった人生の回想とともに、夜の東京湾やサンゴ礁が映し出されます。